

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

こんばんは、らくだです。

あれこれ言っているうちに、あっという間に、5月になってしまいました。

ええと。

まずは月初め恒例の、アレを貼っておきます。

らくだ図書館（28）

<http://p.booklog.jp/book/85408>

ブログ開始から、今で28か月。

更新回数で言うと、850回を越えました。

この調子で行くと、今年中に1000回を越える予定なので、そうなったら何か記念の企画をしたいです。

さて。

話はまったく変わりますが、チャイナタウン観光に刺激されて、手作りシウマイを作ってみました。



どうでしょう？

初めて作ったけれど、それっぽいですよね？

具を詰めるのにコツが必要ですが、多少失敗しても蒸せば食べられるので、不器用な自分にピッタリ（？）の料理でした。

明日以降は、旅行の写真を整理して、また載せていこうと思います。

あと3回分～4回分ほどあるので、もうしばらくお付き合いください。

中華街の写真が大量にあるので、今回は門と廟を集めてみました。

まずはこちら、東門の朝陽門。

いかにも「中華街に来た！」という感じがします。



中華街と聞くとまず赤を想像しますが、どうして青かというと、東は青龍の方角だから青だそうです。

西門は白、南門は赤、北門は黒です。

中華街の門は全部で10基ありますが、そういう観点で見ると面白いですね。



媽祖廟の門。

航海や安産の神様、媽祖を祀る寺院です。

電線が残念ですが、壮麗で格好いいです。



提灯がいい雰囲気！

しばらく歩いていくと、山下町公園がありました。
中華風のあずまやが、朝日の中で輝いています。



奥の方は、遊具などがあって、完全に普通の公園でした。
あと、写真にも入ってますが、周囲は高層マンションです。

こういうミスマッチな感覚も、チャイナタウンの魅力ですよ！



大通りにある善隣門。

12時から20時までは、歩行者天国になります。
この日は幸い天気も快晴で、修学旅行生がいっぱいでした。



関帝廟の門。
三国志にも登場した、関羽を祀る寺院です。

ちなみに夕暮れ時に通ったら、いい意味で、非常にあやしい雰囲気でした。



この風景だけパッと見たら、まるで中国にいるみたい！

撮った時間は、確か19時（閉門）ギリギリです。
空がまだ暗くなりきっていない点がポイントですね。



以上、門コレクションでした。
次回は通りの様子をアップします。

【次回へ続く】

前は中華街の門を紹介しました。

今回は通りの様子をアップしていきます。

それでは、レッツゴー！



まずはコチラ、ChinaTown80。

中華街のインフォメーションセンターです。

チャイナタウンの地図だけでなく、横浜の代表的な観光施設のパンフレットが置いてあって、資料集めにピッタリな場所です。



看板と、電線と、街灯と、電柱と、道路標識と、周囲の建物がゴッチャになって、まったくわけがわかりません。

いいですね。

こういう感じ、大好きです。



香港路の入口。

一応門があるのですが、昨日紹介した門に比べて、明らかにチープな感じ。

ドキドキしながら、路地へ入ってみると……。



ハッファー！

こういう雰囲気、テンション上がる！

なんだか北京に住んでいた頃を思い出します。



路地は路地でも、市場通りには、この通り提灯が。
昼もいいですが、夜はさらに幻想的で、何度も歩いてしまいました。

食事もショッピングもいいですが、歩いているだけでドキドキできるのは、チャイナタウンの大きな魅力
だと思います。



路地のさらに路地。
大通りもいいですが、こういう小さな路地も、味がありますよね。

ああ……。
こんな場所に住みたいな……。



夜の写真。

色々と事情があつて、夕食が夜の10時くらいになってしまったのですが、それでも多くのお店が開いていて活気がありました。



以上、中華街・通り編でした！

次回は面白い看板や小物を紹介します！

【次回へ続く】

チャイナタウン編も、本日がラストです。
今回は何気ない町の風景や、小物の写真をアップします。

それではさっそく、行ってみましょう！



交番の壁に中華風のレリーフが。
昨日写真を紹介した、ChinaTown80 の向かいです。

ついお店へ目が行きがちですが、ふと上を見上げると、色々な発見があったりします。



媽祖廟の門のライト。
扇形に龍という組み合わせが格好いいです。

そしてこちらは、道端の案内標識。



重いなあ……。

ああ、まったくだぜ……。

そんな会話が聞こえてきそうです。



スライディング姿勢のパンダ。

と思ったら、スライディングではなく、空飛ぶパンダらしいです。

横浜博覧会マーケットの店先で撮影。



ブタさんコック。
肩に「私が主役」というタスキをかけています。

まあ、中華料理の主役は、確かにブタ肉ですけど……。



横浜中華街郵便局。
朱雀門の近くにありました。

旅先でも郵便局に反応する自分は、間違いなくワナビのカガミですね！



つね勝。

つねきは勝つ。

縁起のいい店名ですが、閉まっていた……。



関帝廟の横にあった、中国語の自販機。

「汽水」はサイダーの意味ですが、サイダー以外も普通に売っています。

そしてこちらは、香港路の自販機。



4台セットで龍のイラストが。

向かいには1台バージョンもありました。

最後に1枚、パンダの写真を。



以上、中華街の風景でした。
次回は食事編をお送りします。

【次回へ続く】

【横浜8】食事 - 2014.05.05 Mon

こんばんは、らくだです。

8回続いた旅行の記事も、ついに本日で終わりです。

最後に食事を紹介しましょう。

まずはこちら、初日の昼食。

横浜駅西口のモンゴル火鍋店、『小尾羊』にて。



お盆の上にカセットコンロ！

すごい迫力&熱さ&お湯のとばっちりでした。

ですが、こういう豪快な部分も、本場らしくていいですね。



初日の夕食。

中華街の上海料理店、『四五六菜館』にて。

右下のエビチリがおいしかったです。
本来はエビ嫌いなのに、全部食べてしまいました。



2日目の昼食。
ランドマークタワーの台湾居酒屋、『阿里山城』にて。

最初撮影を忘れていて、途中で撮ったので、食べかけの写真ですが……。



席から顔を上げると、この風景がドドーン！
昼間はこの通り、明るく爽やかな雰囲気ですが、夜はきっとロマンチックでしょうね。

そして続いては、オヤツの紹介。



象の鼻パークで食べた、象の鼻ソフトクリーム。

ピンボケ……。

しかも鼻の先、溶けかけ……。



チャイナタウンの有名店、『王府井』の焼き小籠包。
緑はヒスイ、茶色はフカヒレで、どれもおいしかったです。

外はカリカリで、中はジューシー！



チキンラーメンの宣伝車。
みなとみらいの、カップヌードルミュージアムで撮影しました。

しかしよく見たら、大阪ナンバーでした。
なんや、地元かいな！



というわけで、旅行の記事はこれで終わりです。
3日間の短い旅でしたが、とても楽しかったです。

次回からは通常更新に戻ろうと思います！

こんばんは、らくだです。

いよいよGW最終日ですが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。

自分は何度も書いた通り、GW前半は、横浜旅行へ行きました。

3月末に親戚の結婚式があったのですが、締切り直前で欠席してしまったので、是非とも行きたかったんですよね。

……………。

締切りを優先する選択って、人間的には失格だけど、ワナビ的には合格ですよ？

えっと。

まあとにかく、どんな旅行だったかは、すでに紹介した通りです。

GW後半は、特にアテもなく、近場をブラブラしてました。

そうそう。

神戸の中華街へ行ったんですが、ひどい混み具合で、道も歩けないような状態でした。

それで結局、神戸まで行ったのに、サイゼリアで食事っていう。

いやまあ、サイゼリアもおいしかったし、問題ないんですけど。

それから今日は、あん焼きそばで有名な、『梅蘭』梅田店へ行きました。

横浜中華街に本店があるお店ですが、大阪にも系列店が（3店も！）あるのです。

なんかこう書くと、「お前、どんだけ中華料理好きなの」って感じですね。

とにかく、おいしい物をたくさん食べて、元気を十分にチャージできたので、明日以降も頑張ろうと思います！

こんばんは、常木らくだです。

突然の話題ですが、「飲食店を繁盛させるコツ」という、ハウツー本を読みました。
何故そんな本を読んだかはともかく、そこに書いてある内容が面白かったです。

それによると、

- ・ 広告や雑誌掲載やチラシ配布は、一時的な集客にしかない。
- ・ イベント来店（一回限り）ではない、平常時の客数を増やすことが重要。
- ・ そのためには、ふらりと来たお客さんに、リピーターになってもらうことが大事。

だからこそ、毎日が真剣勝負！

そう書いてあって、おおいに納得しました。

これって飲食店だけじゃなく、そのまんま、ブログにも言えないでしょうか。

例えばこのブログ、賞の発表があった日は、目に見えてPVが伸びます。
落選したらくだの顔を見たいなんて、皆さん本当にドSだなあと思います。

ただ、個人運営のブログを訪問しても、普通は最新1～3個くらいの記事を見て、それで帰ってしまいますよね。

その1～3個で、「この人の文章は面白い」、「次回の更新もぜひ読みたい」、「何度も訪問する価値がある」と思ってもらえる必要があるわけで、逆にそれができなかつたらリピーターは生まれないということで。

そう考えると、毎日が真剣勝負だし、改めて身が引き締まる思いです。

このブログは商売ではなく完全に趣味ですが、やっぱり訪問者が増えれば増えた分だけ嬉しいので、これからも楽しんでもらえる内容を目指して頑張ろうと思います！

こんばんは、らくだです。

最近とても嬉しいことに、「らくだ図書館の影響でブログを始めました」という話を、何件か耳にしました。

わーい！

ありがとうございます！

自分も投稿ブログを読むのが大好きなので、らくだ図書館の影響で始めた方がいるなんて、それ以上に嬉しいことはありません。

ってわけで、皆どんどん、ブログやろうぜ！

というのも、小説投稿者って世間から色眼鏡で見られるので、私達が普段どんなことを考えて創作しているのか、もっと積極的に発信した方がいいと思うんですよね。

もちろんブログを公開しても、見てくださるのは、好意的な方が中心だと思います。

ワナビに偏見を持っている人は、そもそも見てくれないでしょう。

でも、発信する姿勢って、大事だと思うわけですよ。

自分の情報を何も発信していないのに、「周囲はわかってくれない」と嘆くのは、ただのワガママじゃないのかなあって。

まあ、難しい理屈はさておき、投稿ブログが増えていくのは、自分にとって間違いなく嬉しいことです。

戦力的にはへっぽこな自分ですが、地道に投稿ブログの更新を続けることで、ワナビ界を少しでも盛り上げていけたらいいなと思います。

オーバーラップ文庫 WEB 小説大賞の、第2回が開催決定したようです。

【特設ページ】

<http://over-lap.co.jp/bunko/narou-award2/>

締切りは8月末で、既定の文字数は、10万文字以上です。

気になる募集テーマについては、前は「異世界×ハーレム」でしたが、今回は「異世界×バトル」らしいです。

具体的な条件は、

- ・ 舞台は異世界
- ・ バトル展開がある物語
- ・ ヒロインが一人以上登場すること
- ・ 10代後半～20代の主に男性読者をターゲットとしたエンターテインメント作品

ちなみに、説明を詳しく読むと、「主人公が勝利することでカタルシスが得られるようなストーリー」って書いてあるんですよね。

えっと？

つまり負けちゃダメなの？

勝負には負けたけど人として成長するって展開、個人的に好きなんですけど、そういう終わり方じゃダメなんですかね……？

ま、いっか！

異世界の条件が取れない限り、どっちみち、オイラは参加できないからね！

というわけで、自分は不参加ですが、コンペ情報の紹介でした。

異世界バトルをメインに書かれる皆様は、チャレンジしてみてもいいかなと思います。

こんばんは、らくだです。

今日は5月10日ということで、電撃の締切りから1か月です。

今でまだ1か月……。

なんか信じられないというか、もうとっくに、3か月くらい過ぎ去った気が……。

締切り前の鬼のような忙しさと、終わった後の解放感のギャップが、そう感じさせるのかもしれませんが。

さて。

話は変わりますが、PC版のメニューバーに、リンク集を追加しました。

まずは手始めに、らくだ図書館へリンクを貼ってくださった方々のブログを、お返しにひっそりと紹介しました。

皆様、ありがとうございます。

個別にお礼が言えておりませんが、アクセスも増え感謝しております。

あ、今載せたお返しリンクは、自分が把握できている件だけなので、ひょっとしたら漏れがあるかもしれません。

「紹介してやったのに載ってねーぞ!」とか、「勝手に載せられて迷惑や!」という方がいらっしゃれば、お手数ですが当方へご連絡くださいませ。

同時に、新たなリンク先も募集しております。

小説投稿のブログでしたら、老若男女問わず、どなたでも熱烈大歓迎です。

イエス、ワナビ生活!

積極的にどんどん情報を発信して、自分達の手で、投稿界を盛り上げていきましょう!

こんばんは、らくだです。

今夜は選評の思い出を語ってみます。

投稿を始めてまだ間もない頃、某賞の評価シートのコメントに、「作品に閉塞感がある」と書かれたことがあるんですよね。

閉塞感？

何のこっちゃ？

別に閉鎖空間モノでもないし、その当時は、「意味わかんね」と思っていました。

でも、ですね。

今になって読み返したら、相手が何を言いたかったのか、ストンと理解できました。

ここで具体的に説明できないのが、もう非常にもどかしいんですが、「ああ、閉塞感ってそういう意味ね」と。

これはたぶん、昔の自分は理解不能だった指摘が、今の自分は4年たって成長したので、理解できるようになったということでしょう。

もちろん、何年過ぎても「これは違う」って思うコメントもあるんですけどね。

頑固者だと嫌われそうですが、誰がどう言おうと、曲げたくない信念もありますし。

ただ、受け取った瞬間にはカチンときても、時間がたって理解できたケースは現実的に多数あります。

というわけで。

以前は首を傾げたコメントも、改めて読み返してみると、理解できる点があるかも？

執筆が行き詰まった瞬間などに、試してみてもいいかがでしょうか。

日曜日は母の日だったので、母へハンカチを渡しました。

そしたら想像以上に感激されて、「どうもありがとう」と言われて妙に照れくさかったので、「掃除してたら出てきたんだ、あはは〜」と言ったら、本気でガッカリされました。

おおう……。

照れ隠しの言葉を間違えてしまった……。

ここで赤くなって「……別に」とでも言えば、ツンデレ成立だったのかもしれませんが、自分はそんなキャラでは全然ないので、まあこれでよかったのだらうと思います。

あ、そうそう。

「次はどこへ出すんですか？」と質問をいただきましたが、今のところ未定です。

電撃へ投稿中の作品に今出せる全力をぶつけたので、その結果が判明するまでは、新作執筆はいったん休止って感じですね。

この期間にも休まず書き続けたら、確実にレベルアップするんだらうけれど、どうにもモチベーションが上がらないので。

選評が届くのを待っていたら、11月まで書けなくなってしまうので、今のところ発表を見たら再開しようという計画です。

ってというかそれより、また1次で全滅しちゃって、選評ないかもしれないですがッ！

……………。

自分で自虐ネタを言った後、自分で激しく傷付くパターン。

まあ、そんな不器用な常木らくだですが、今後も一つよろしくお願いします。

今回は投稿とまったく関係のない話です。

このブログはシーサーブログサービスを利用していますが、「送信元が海外の IP アドレスだった場合、コメントの受付を自動的に拒否する」という仕様が変わるそうです。

【Seesaa ブログ】

国外 IP からのコメント投稿規制機能をリリースします

<http://info.seesaa.net/article/396939245.html>

ユーザー側で許可の設定はできますが、拒否状態がデフォルトになるみたいです。

そもそも自分はコメント欄を閉じているし、その自分が言えることでもないですが、正直言ってこの変更は寂しいですね。

自分が海外に住んでいた時は、個人運営のブログに、相当お世話になってきました。

例えば急に暑くなったとか寒くなったとか、そういうニュースにならないような日本の今の情報は、個人が趣味で書いているブログの方が赤裸々に伝わってくるので。

それなのに、海外からのコメントは、シャットアウトしちゃうの？

そもそも世界中で自由に繋がれるのが、ネットのいいところじゃないっけ？

なんて思ったりしたわけです。

まあこんな変更が必要になったということは、それだけ海外のスパムが多くなって意味なんだろうし、仕方ない話だとは思いますが、初期設定を拒否にする必要って果たしてあるのかなーと。

機能はリリースしておいて、「スパムで困っている管理人は自分で設定して使ってね」って流れにしたらいいのかな、と個人的には思いました。

こんばんは、らくだです。
突然ですが、引越しました。

ジャジャーン！
部屋のベランダから見える風景！



梅田のスカイビルが、歩いて行ける距離。
今までずっと住んでいた、北摂の山奥とは大違いです。

これで、出不精が解消されますね！
ついでに、デブも解消されるといいんですけど！

あ、えっと。
今のは単なる言葉遊びであって、著者はそこまで太っていません。
(↑すぐに弁解するところが、逆に余計に怪しいパターン)

部屋の話に戻りますが、嬉しいことに角部屋で、もう一方の風景はこんな感じ。

中央は淀川です。
遠くに見えている山は、たぶん六甲山の端の方。



ちょっと方角が違うかもしれませんが、「淀川花火が見えないかな？」と期待中。

とにかく、色々な部分で、住環境がよくなりました。

執筆部屋もできたので、心機一転、頑張ろうと思います。

こんばんは。
常木らくだです。

数日前に話題に出した、国外 IP からのコメントを拒否する機能は、すでにリリースされて有効になりました。

【Seesaa ブログ】

国外 IP からのコメント投稿規制機能をリリースしました

<http://info.seesaa.net/article/397168986.html>

そこで、ですね。

反抗の意を込めて、というわけでもないですが、試しにコメント欄を開けてみます。

らくだ図書館へのご意見、ご感想などがありましたら、この機会にジャンジャン寄せてくださいませ。

特に、創作の質問は大歓迎です。

仮に質問が来た場合、喜んでお答えします。

書きたくない欄は無記入でいいですし、例のブロック機能は無効にしたので、海外からの投稿でも大丈夫ですよ！

そんなわけで、これからしばらくは、コメントに答える記事を書こうと思います。

質問がゼロだった場合は、自分で創作の質問を考えて、自分一人で勝手に答えます。

ん……？

それっていつもと一緒のような……？

まあとにかく、よろしくお願いします！

こんばんは。
常木らくだです。

前回の記事で質問を募集したところ、早速たくさん寄せていただきました。

コメントをくださったゴッドさん、えりおさん、二次落ち常連さん、犬さん、すみやきさん、ありがとうございました！

やっぱり、短い内容であっても、反応があるって嬉しいですね。

たぶん何も来ないだろうな……。
自分で質問を用意しなきゃな……。

と思っていたのに、こんなに集まるなんて、嬉しい誤算というものです。

いただいた質問には、これから記事の中で順番にお答えしていきますので、ご期待(?)ください！

ちなみにまだ募集しておりますので、常木らくだについて疑問がある方は、前回の記事から書き込んでくださいませ。

ふふふ～。
裸でお答えしちゃいますよ～。

あ、裸というのは比喩表現であって、決して露出狂ではありませんので、安心してアクセスしてくださいね。

引越しの片付けが終わらず、なかなか通常更新に戻れませんが、どうぞよろしくお願ひします。

これからしばらくの間、寄せられた質問にお答えします。
今回のテーマは、「大阪弁と標準語の使い分けについて」です。

これは、そうですねえ。

自分は子供の頃から引越しが多く、「家庭では標準語、外出したら方言」という生活をしていたので、自然に使い分けできるようになりました。

いや、でもね。
大阪に転校が決まった時は、一人でブルブル震えましたね。

大阪で「マックだよね～」とか言ったら、通行人に背後からどつかれて、財布と携帯電話を盗まれて、道頓堀に捨てられるんじゃないかと、そういう一方的なイメージを持っていたので。

小学生だった自分が、何故そんな偏見を持っていたのか、今では謎ですが……（汗）

とりあえず在阪歴も20年以上になりますが、そんな目にあつたことはまだ一度もなく、大阪は住みやすい場所だと感じています。

自分の場合はそういう状況ですが、他の方々がどう思っているのかは、逆に聞いてみたいところですね。

おそらく大阪人という存在は、東京へ行っても言葉を標準語に変えない度ナンバーワンだと思いますが、それだけ自分の出身地に誇りや愛着があるのは、とても素敵なことだと思います。

というわけで、コメントをくださったゴッドさん、どうもありがとうございました！
まだ募集しておりますので、他にも質問がある方は、どしどし寄せてくださいませ！

こんばんは、らくだです。

質問シリーズ2回目の今回は、「一般文芸には応募していますか？」という、えりおさんからの質問にお答えします。

せっかくなので一般文芸だけでなく、すべての応募歴を答えておきますね。
自分は公開慎重派ではなく、ぶっちぎり見せ見せ派なので、マジで全部披露します。

【少年向け】

電撃、えんため、スニーカー、ジャンプ小説、一迅社、ガガガ、SD、HJ、GA、MF、このラノ、OVL、ヒーロー

【少女向け】

えんためガールズ、一迅社アイリス、ルルル、コバルトロマン、ビーンズ

【一般文芸】

野性時代、小学館文庫、小説すばる新人賞

これだけ送っても結果は出ていないので、人様から見れば笑われ者なのかもしれませんが、それもいいじゃないかって思うんですよね。

落選して悔しかった経験も、大切な投稿生活の一部です。
今後どれだけ逆境が続いても、自分が選んだ道として、受け入れたいと思っています。

まあ、そういう格好いい理由は後付けで、実際は根がドMで露出狂だから、落選歴を進んで披露するんですけど！

でも、消したい経歴はない、っていうのは本当です。
たとえ結果が落選であっても、隠して忘れるんじゃなく、前向きな教訓にしたいですね。

こんばんは、らくだです。

質問シリーズ3回目の今回は、学園日常モノの起伏に関する、二次落ち常連さんからの質問にお答えします。

しかし、これ……。

自分もまったく同じ悩みを持っているので、何もアドバイスできないという状況で……。

いや、もう、ヘタレですみません（汗）

ひとまず、自分が少し前に日常モノを送った時は、評価シートで下のようなアドバイスを受けました。

各章20枚くらいで、章ごとに小さな事件が起こるとい、どたばたコメディ（を書いたつもり）だったんですが、

「続き物の漫画であればこれで構いませんが、小説として一作にまとめる以上は、作品全体の中で起伏を作るようにしましょう」

ですってよ、奥様。

あ、ちなみに、スー〇ー〇ッシュの選評です。

そういうわけなので、バトルがない日常系の物語であっても、その作品のスケールに見合った起伏は必要だと思います。

そのための方法などは、自分も修行中なので、お伝えできないのですが……。

ズバツと回答できなくて申し訳ないですが、今後投稿を続ける中で何か発見できたら、またこのブログに書いていこうと思います。

こんばんは、らくだです。

質問シリーズ4回目の今回は、アイデアが出なくて困っているという、犬さんからのコメントにお答えします。

しかし、アイデアを出す方法は、自分も激しく知りたいです。
これだけ何度も落選が続いたら、そりゃもう当然、ネタも枯渇するというものです。

なんか、自分で質問を募集したのに、こんなばっかでスママセン……（泣）

代わりに、アイデアが出ない時の行動を、いくつかここに書いておきます。
出なければ出ないほど、下の段階へ移行します。

（1）散歩する

歩いている時は、止まっている時よりも、脳が活発になるらしいです。

（2）音楽を聴いたり、ゲームをしたり、気分転換する

ふとした単語からインスピレーションが湧くことも。パクリではありません！

（3）自分以外が書いた小説を読む

プロの作品もいいですが、他の投稿者さんの作品だと、特に励みになります。

（4）それでもダメな場合、いったん執筆から離れて、ネタが出るのを待つ

排泄と同じと言ったら、例が悪すぎて嫌われそうですが、出る時は出ますからね！

こんな感じです。

わざわざ披露するまでもなく、たぶん皆様やっていることだと思いますが、よろしければ何かの参考にどうぞ。

こんばんは。
常木らくだです。

質問シリーズ5回目となった今回は、すみやきさんのコメントにお返事します。

まずは、相互リンクありがとうございました。
というか、ご挨拶もしないまま、突然ブログを紹介して失礼しました。

以前すみやきさんの大喜利ツイートが好きだったのですが、なにしろ自分は激しい人見知りなので、なかなかお声をかけることができませんでした。

えっと、そうですね。
どれくらい人見知りか説明すると、まるで、借りてきたラクダのような感じです。

あと、執筆中に「人見知り」と入力した際に、「瞳尻」と変換されたことがありますが、それは別にどうでもいい情報です。

とにかく、すみやきさんの幅広い創作活動は、自分も見習いたいと思っています。
こんなシャイで面倒くさい奴ですが、これからもよろしくお願いします！

さてさて。

大好評（自称）の質問シリーズですが、届いたコメントは今のところ6件なので、ひとまず次回の更新が最終回となります。

しかし！
まだ締め切ってませんので、そこのあなた、駆け込み質問オーケーですよ！

ここで話題にして欲しいことがある方は、5月15日の「質問募集」の記事から、気軽にコメントを寄せてくださいませ。

こんばんは、らくだです。

質問シリーズ6回目の今回は、「ペンネームの由来を教えてください」という、ななみさんからの質問にお答えします。

まず一番大きな理由は、ご指摘いただいた通り、ラクダが好きだからです。もうちょっと具体的に説明すると、以下の観点を考慮の上で決めました。

- ・読み間違いがないよう、名前はひらがなで表記
- ・動物名を採用することで、親しみやすさアップを狙う
- ・聞いた瞬間にイメージが湧いて、相手に覚えてもらいやすい名前

あと、ラクダって理由は知りませんが、いつもだいたい笑顔じゃないですか。

そんなラクダを見習いつつ、投稿砂漠は過酷だけど「常に気楽に行こうよ」という意味を込めて、常木らくだになりました。

いや、もう！

ペンネームの由来、やっと言えました！

投稿者なのに語っていいのかなあーという謎の遠慮から、今まで自粛していたんですが、こうして質問を受けると堂々と披露できていいですね。

キャラクター名の付け方については、イメージで決めることが多いです。

音楽の話なら「響」とか、スケートの話なら「氷」とか、作品の雰囲気合うように。

適当に決めてしまう場合もありますが、名前を伏線としてバッチリ回収できると、執筆中ものすごく満足ですよ！（自分だけ？）

名前やタイトル決めは、もっとも好きな作業なので、これからも楽しんで考えたいです。

ドキドキしながら新着コメントを確認したら、怪しい宣伝URLが書かれた英語のスパムで、しょんぼりしている常木らくだですこんばんは！

いや……。

まさか手動ではないと思いますが、こんな辺境ブログにまで宣伝が……。

ま、もう消しちゃったし、別にいいんですけどね。

締めがスパムというのも、迷走気味のらくだ図書館に、ふさわしいと思います。

というわけで、突然始まった質問シリーズは、これにていったん終了します。

ご参加いただいた6名の皆様、どうもありがとうございました。

ちなみにコメント以外にも、当方へ直接メールをくださった方、ツイッターで交流してくださっている方など、当ブログはたくさんの人達に支えられて成り立っております。

最近ありがたいことに、「いつも励まされています」というお言葉をいただくのですが、実際はまったくその逆で、こちらの方がその一言に励まされている状況ですね。

落選が続いてどうしようもない気分になった時、「私の文章を読みたがってくれる人がいる」というのは、真夜中の灯台のような救いになりますからね！

単純ですが、アクセスが「1」増えるだけでも、頑張ろうって気分になれるんです。

こんな自分でも、文章を書いていいんだって、そういう気持ちにさせてくれます。

まあ、そういうわけなので。

時に励まし、逆にそれ以上に励まされ、これからも続けていきたいです。

あ、シリーズは今日で終了しますが、質問はいつでも受け付けております。

次から通常更新に戻るつもりですが、何かありましたらお気軽にどうぞ。

今話題の「あべのハルカス」へ行ってきました！



ハルカスの高さは300m。
複合ビルとしては、日本一だそうです。

いやはや。
天王寺にこんな建物ができるなんて、一昔前は想像もできませんでしたね。



このエレベーターで、展望階へ向かいます。
激混みで整理券が必要でしたが、予約なしでも当日入場できました。

上に到着してみると、早速こんな風景が。



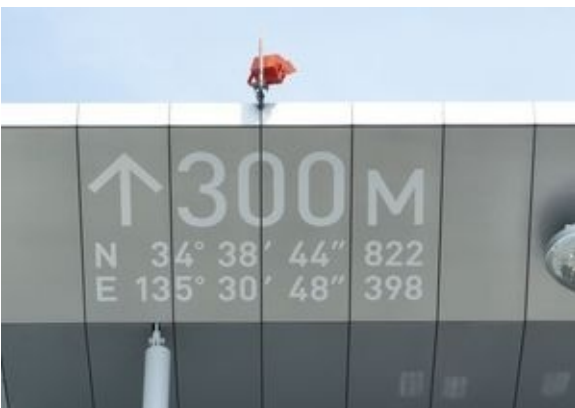
うーん！
空が青くて気持ちいい！

ちなみに展望フロアは、こういう感じでした～↓



60階が天井回廊で、その下が天空庭園。

売店やレストランなどもありました。
想像していたよりも、かなり広がったです。



300mを示す案内。

それにしても、壁に近寄って見ると、本当に空の上のような感覚です。
自分は高所恐怖症なので、ずっと見ているうちに、妙な冷や汗が出てきました。



下の写真をご覧ください。

ハルカスの何が怖いって、足元の高さまで全部、ガラス張りなんですよ。
場所によっては、床もガラス張りという構造で、300m真下が見えちゃいます。



写真は無理して撮りましたが、怖くて乗れませんでした……。

最後に通天閣の写真を。

かつては大阪のシンボルだったのに、ビックリするくらい地味ですね！（失礼）



そんなこんなの、あべのハルカス。

高い場所が苦手であれば（重要）、非常に楽しめる場所だと思うので、近くにお住まいの皆様はいかがでしょう？

こんばんは、らくだです。

ようやく引越の荷物も片付き、家の中が快適になりました。

それにしても、執筆部屋ができたのは、非常に嬉しいことですね！

どんな感じかというと、学習机2つ（PC作業用とアナログ作業用）、壁には資料用の本棚を設置、逆側の壁には印刷用のプリンターっていう配置です。

あ。

デビューが決まった、とかではないですよ。

自分で言うのも寂しいですが、勝手に部屋を作っただけであって、相変わらず全力でワナビです（涙）

あと、そうそう。

今いる場所、それほど遠くない距離に、24時まで営業の郵便局があるんですよ。

つまり！

その気になれば、ワナビダッシュができるのです！

【注：ワナビダッシュ】

締切り当日の23時台に、投稿原稿をかかえ、郵便局へダッシュすること。

間に合った際の喜び、間に合わなかった際の絶望、どちらにしてもドラマが生まれる。

まあ本当はワナビダッシュなんてしないで、余裕をもって投稿完了するのが理想なんですけど、いざという時に郵便局があると思うと安心できます。

とにかく、これだけ環境が快適になったので、成績の方も上げたいところです。

努力したからといって、即座に結果が出る世界ではないですが、頑張ろうと思います。

突然ですが、我々小説投稿をしている人間に対して、世間の人々は根強い偏見を持っていると思いませんか？

変人、オタク、陰気で暗い、勘違い野郎、周囲が見えていない……。

いかがでしょうか。

投稿を打ち明けた時にそう言われ、傷ついた経験はないでしょうか。

まあ自分は幸か不幸か、上記すべてに該当しているので、そう言われちゃっても別に構わないんですけどねッ！

でも、ですね。

真面目な話、それでイヤな思いをしている投稿者さんは、この世の中にたくさんいるんじゃないかなーと思うわけです。

どうしたら、そういう偏見がなくなるんだろう？

すべての投稿者さんが、胸を張って活動できるんだろう？

そのためには、投稿者である自分自身が、動かなきゃいけないと思うんですね。

デビュー済みの方々は忙しいだろうし、投稿者でない人間に頼める問題でもないし、じっと待っていても誰もこの状況を変えてくれません。

じゃあ、自分で何か行動しようよ。

そう思って、このブログをやっているわけですが、まだまだ不十分だと思うんですね。

投稿者の地位を向上させるために、何かもっとできることはないのか？

結論なしで投げっぱなしの記事ですが、これからも真剣に考えていきたいです。

小学館文庫の発表遅いな〜と思っていたら、単に自分がページを見落としていただけで、実はとっくに結果が載っていた件について。

しかも、発表されたの、4月28日なんですよね……。
一応毎日チェックしていたのに、1か月も見落としていたって言う……。

こんばんは、らくだです！
お茶目なドジっ子だけど、みんなどうぞヨロシクね！

都合が悪くなったら、挨拶でごまかす奴。

ま、そんなわけで、結果は1次落ちでした。
いいもん、いいもん、別に全然悔しくないもん。

ちなみに応募数は、こんな感じですね。

応募総数	626本
1次通過	15本（約2%）
2次通過	4本（約0.6%）
受賞作	1本（約0.1%）

なんか……。
ラノベの賞もすごい競争率ですが、一般文芸って、それよりさらに過酷ですよね……。

まあでも、作家になるのが容易でないって事実は、最初から大前提としてわかっていたことで。

今さらこの数字を見てため息をつくなんていう、スーパーネガティブな行動はやめて、いじけず腐らずこれからも頑張りたいです！

こんばんは、らくだです。

今話題のディズニー映画、『アナと雪の女王』を見てきました。

まあ話題といっても、実際は2月から公開されていたわけで、今更の感想ですが……。

昨日の記事といい、自分が取る行動は、世間から数か月遅れてますね……。

それはともかく、感想としては、とても素敵な作品でした。

ディズニー映画だから絶対にハッピーエンドということは、見る前から大前提としてわかっているんですが、それでも最初から最後までハラハラドキドキできました。

書くとネタバレになってしまうので、詳しいストーリーは書きませんが、この人気にも納得って感じです。

うん。

やっぱり王道っていいですね。

愛と夢と希望があって、悪人が必ず罰される作品って、やっぱり自分にとって理想です。

お子さま趣味と言われそうですが、この現実世界が必ずしもそうではないからこそ、そういう作品に触れると心が洗われた気分になりませんか？

とにかく『アナ雪』は、久し振りに出会った、オススメできる映画です！

やや女性向けかなーという印象はありましたが、あくまでも「やや」であって、老若男女問わず楽しめる内容だと思います。

そんなわけで、自分の創作エネルギーも、ばっちりチャージできました。

新作の執筆は一時休止中ですが、構想だけでも、ぼちぼち頑張ろうと思います。

2次発表の件 - 2014.05.29 Thu

話題にするのが遅れましたが、富士見ファンタジア&オーバーラップで、先日2次発表がありました。

今ごろ書いても役に立たないと思いますが、通過本数や倍率、リンクなどを念のために載せておきます。

【ファンタジア】

応募総数 ?
1次通過 116本
2次通過 11本

<http://www.fantasiataisho.com/contest/27th.php>

【オバラプ】

応募総数 451本
1次通過 64本（約14%）
2次通過 7本（約1.5%）

<https://over-lap.co.jp/bunko/award/2013/>

おいおい。

2次通過がおよそ1%って、それ、どういうことだってばよ。

とにかく、毎度この感想ばかりですが、本当に厳しく険しい道のりですよね。

ツイッターで他の方も言っていたのですが、こういう倍率を何年間も日常的に見ていると、司法試験や公務員試験の倍率が、たいした数字じゃないように思えてきませんか？

「公務員浪人3年目？ 甘いな、オレの方が苦勞してんぜ！」みたいな！（何者だ）

まあ、数日前にも同じ結論を書きましたが、悲観してもいい影響はないと思うので、自分にできることを地道に頑張ろうと思います。

本日、ビーンズの1次発表がありました。

えっ、早くない？

たしか例年は8月だったと思いますが、リニューアルで変わったんですかね？

何はともあれ、1次の結果はこちらです。

日付は6月1日になってますが、その日は日曜日なので、フライングで出たようです。

【角川ビーンズ小説大賞】

応募総数 576本

1次通過 40本

通過率 約7%

<http://www.kadokawa.co.jp/beans/awards/>

自分は今回不参加ですが、1次から1ケタ倍率という、非常に厳しい結果です。

なんかね……。

通過率を気にしても仕方ないけど、考え始めると、やっぱり気が滅入るといふか……。

いや、こういう思考、よくないですね。

どれだけ狭き門であっても、通る人は通るのだから、余計な悲観はやめましょう。

1次通過された皆様は、おめでとうございます！

2次もその次も通過することを祈っております！

ちなみに他の少女系の賞では、ロマンの発表が気になります。(送っているの)

今回のビーンズみたいに、リニューアルに伴って、早めに発表しないかな？

まあないかなーとは思いますが、せっかくなので、期待しつつ待とうと思います。

大幅リニューアルを宣言していたコバルトですが、応募要項に関する詳細がついに発表されました。

【新ノベル大賞】

http://cobalt.shueisha.co.jp/award/images/novel_2015.pdf

詳細は上記PDFの通りですが、主な要点はこんな感じですね。

【応募期間】 2014年8月1日～2015年1月10日

【規定枚数】 原稿用紙換算で、100～400枚

【ジャンル】 女性が楽しめるエンターテインメント作品

【評価シート】 希望者全員に送付（要封筒）

【応募方法】 郵送、またはウェブから

締切りは、旧ロマンと同じ1月10日。

枚数の規定に幅があるので、短編から本格的な長編まで、かなり自由に投稿可能。

こうしてポイントを確認すると、ノベル大賞とロマン大賞が合体して、それと同時に自由度が増した感じでしょうか。

あと、ジャンルに関しては、「従来のコバルト文庫のイメージにとらわれなくていい」という一文が添えられています。

従来のイメージといえば、「ファンタジー要素が強い恋愛メインの物語」だと思いますが、そうじゃない作品を送ってもいいと要項に明言してあるわけですよ。

イエーイ！

女性向けの日常モノ、自分は結構書く方なので、これは絶対に参加したい！

締切りはまだ先ですが、どんな作品を投稿しようか、しっかり考えてみようと思います。